

[受注者からの請求]

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(発注者) 様

受注者 〇〇建設(株)
住所
氏名
(担当者、連絡先電話番号)

工事請負契約書第 2 5 条第 6 項に基づく請負代金額の変更について (請求)

下記の工事については、賃金等の変動により、工事請負契約書第 2 5 条第 6 項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

- 1 工 事 名
- 2 工事場所
- 3 契約締結日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 請負代金額 円
- 5 工 期 令和〇〇年〇〇月〇〇日から
令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
- 6 希望基準日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 7 変更請求概算額 (スライド額) 円
- 8 概算残工事請負代金額 円
概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に
相応する請負代金額を控除した額
- 9 添付資料 工事出来高内訳書、実施工程表付き工事履行報告書、出来形
状況写真、変更請求概算額及び概算残工事請負代金算定資料

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

[発注者からの請求]

〇〇〇〇第 号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

(発注者)

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について(請求)

下記の工事については、賃金等の変動により、工事請負契約書第25条第6項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 契約締結日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 4 請負代金額 円
- 5 工期 令和〇〇年〇〇月〇〇日から
令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
- 6 希望基準日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 7 変更請求概算額 円
- 8 概算残工事請負代金額 円
概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に
相応する請負代金額を控除した額

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

(別紙様式2)

〇〇〇〇第 号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

(発注者)

工事請負契約書第25条第8項に基づく協議の開始の日について (通知)

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった標記について、工事請負契約書第25条第8項の規定に基づき、スライド額協議開始日を通知します。

記

1 工 事 名 〇〇〇〇〇〇工事

2 工 事 場 所

3 スライド額協議開始日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

(※スライド額協議開始日は、受注者の意見を聴いて、請求日から7日以内に設定する)

(別紙様式3-1)

〇〇〇〇第 号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

(発注者)

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について(協議)

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について、同条第7項の規定に基づき下記のとおり協議します。

なお、異存がなければ、別添承諾書へ記名押印のうえ返送願います。

記

1 工 事 名 〇〇〇〇〇〇工事

2 工 事 場 所

3 スライド変更金額 (増) _____ 円

うち、取引に係わる消費税及び地方消費税の額 _____ 円

基 準 日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

(別紙様式3-2)

〇〇〇〇第 号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

(発注者)

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について(協議)

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について、同条第7項の規定に基づき、下記のとおり協議します。

記

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 工 事 名 | 〇〇〇〇〇〇工事 |
| 2 工 事 場 所 | |
| 3 スライド変更適否 | スライドの適用が認められない |
| 4 理 由 | スライド額が対象工事費の1%を超えないため |

ス ラ イ ド 調 書

工 事 名	
請 負 代 金 額	円 (消費税含まず)
	円 (消費税含む)
設 計 書 金 額	円 (消費税含まず)
	円 (消費税含む)
工 期	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日
基 準 日	令和 年 月 日
出 来 高 額 (P ₀)	円 (税抜き)
残 工 事 額 (P ₁)	円 (税抜き)
変 更 残 工 事 額 (P ₂)	円 (税抜き)

※増額スライド用

賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

工 事 名 ○○○○○工事

請負代金額 (税抜)	出来高額P ₀ (税抜)	P ₁	P ₂

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (S)} &= (P_2 - P_1) - P_1 \times 1/100 \\ &= (\quad - \quad) - \quad \times 1/100 \\ &= \quad - \quad \\ &= \end{aligned}$$

(但し、P₁ < P₂)

- P₁ : 請負代金額から出来形部分に相応する請負代金額を控除した額
P₂ : 変動後 (基準日) の賃金等を基礎として算出したP₁に相当する額

$$\begin{aligned} \text{スライド額} \\ \text{(税込み)} &= S + S \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

※ 算定根拠として「残工事額 (P1) 計算書」【エクセルシートA】、「インフレスライド計算書」【エクセルシートB】を添付すること。

※減額スライド用

賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

工 事 名 ○○○○○○工事

請負代金額 (税抜)	出来高額P ₀ (税抜)	P ₁	P ₂

$$\begin{aligned} \text{スライド額 (S)} &= (P_2 - P_1) + P_1 \times 1/100 \\ &= (\quad - \quad) + \quad \times 1/100 \\ &= \quad + \\ &= \end{aligned}$$

(但し、P₁ > P₂)

- P₁ : 請負代金額から出来形部分に相応する請負代金額を控除した額
- P₂ : 変動後 (基準日) の賃金等を基礎として算出したP₁に相当する額

$$\begin{aligned} \text{スライド額} \\ \text{(税込み)} &= S + S \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

残工事額(P1)計算書

工事名：			
工期：	年 月 日	~	年 月 日
基準日：	年 月 日		

単位：円

	①現設計額	②出来高	③残工事額(P1) ①-②(旧単価)
本工事			
直接工事費計			0
(直接工事費率対象分)			0
共通仮設費積上分			0
共通仮設費(率)		0	0
共通仮設費計	0	0	0
現場管理費対象額	0	0	0
現場管理費		0	0
工事原価(率対象)	0	0	0
一般管理費	0	0	0
一般管理費(契約保証分を除く)		0	0
一般管理費(契約保証分のみ)		0	0
工事価格(税抜)	0	0	0
消費税等相当額	0	0	0
工事費計	0	0	0
請負工事費(税抜)		0	0
請負工事費(税抜・まるめ)	0	0	0
請負消費税相当額	0	0	0
請負工事費計	0	0	0

消費税等率	
-------	--

	直接入力
	自動計算

インフラスライド計算書

工事名：			
工期：	年 月 日	～	年 月 日
基準日：	年 月 日		

変動増額率が1%を超えない場合、スライドの適用は認められない。

単位：円

	①現設計額	②出来高額(P0)	③残工事額(P1) ①-②(旧単価)	④スライド後 設計額	⑤残工事額(P2) ④-②(新単価)	⑥残工事変動額 (P2-P1)=A	⑦変動率 ((P2-P1)/P1)	⑧スライド額 S増=A-(P1× 1/100)
工事価格(税抜)	0	0	0		0	0		
消費税等相当額	0	0	0	0	0	0		
工事費計	0	0	0	0	0	0		
請負工事費(税抜)	0	0	0	0	0	0		
請負工事費(税抜・まるめ)	0	0	0	0	0	0		0
請負消費税相当額	0	0	0	0	0	0		0
請負工事費計	0	0	0	0	0	0		0

【単位：円】

残工事の1%【税抜き】	P1(変更請負工事費(まるめ))×1/100=	0
残工事の1%【税込み】	C×(1+消費税等率)=	0

直接入力
自動参照
自動計算

消費税等率